

経済労働局民間活用事業者選定評価委員会 会議録

日 時	令和7年7月31日（木）9時20分～11時30分
場 所	川崎市産業振興会館 12階会議室
出席委員	志村委員（会長）、村上委員、朝日委員
事務局	経済労働局産業政策部庶務課 米村課長、諸田課長補佐、泉主任（記録）
所管課	川崎市コンベンションホール：観光・地域活力推進部 細井課長、向坂係長、飯塚職員 川崎市生活文化会館：労働雇用部 一ノ瀬課長、岩崎係長、柏倉職員
傍聴者	なし
議 題	(1) 令和6年度 川崎市コンベンションホールの管理運営に対する評価
	(2) 令和6年度 川崎市生活文化会館の管理運営に対する評価
	(3) 川崎市生活文化会館の現指定管理期間の総括評価

【会議内容（摘録）】 9：20～9：30

- 事務局 米村課長
 - ・本日は、川崎市コンベンションホール、川崎市生活文化会館の2施設の管理運営についての評価を審議いただく。
 - ・各委員について紹介を兼ねて説明。
 - ・会長の選出について、事務局案として志村委員を推薦するがよろしいか。

【各委員、了承】

 - ・それでは志村会長にここからはお任せする。

- 志村会長
 - ・会議録について、要約方式により作成すること、委員名を記載すること、文書開示請求があった場合に委員名が原則開示となること、確認については各議事の出席委員全員で行うことを確認。また、各委員、審議対象施設との利害関係はないこと、委員に対して指定管理者から審査に関する接触はなかったことを確認。

【各委員、了承】

 - ・議事に先立ち、評価の流れ及び評価基準等について委員の共通認識とすべく、事務局に説明を求める。

- 事務局 泉主任
 - ・次第に沿って、本日の議事概要を説明。
 - ・議事については、所管課から年度評価についての説明を行い、質疑応答の上で適宜修正を加え、それを委員会としての評価及び結論とする形式となる。
 - ・年度評価については、評価段階「3」、評価「C」が「仕様書どおり」という基準になる。
 - ・原油価格・物価高騰対策、利用料の補填の取扱いについて説明。

議題（１）令和６年度川崎市コンベンションホールの管理運営に対する年度評価

９：３０～１０：０８

- 所管課からの説明（細井課長）
 - ・資料１の評価シートに基づき、各項目の評価案を説明。
(資料２ページ 修正あり…「評価の理由」欄【利用者満足度】アンケート回収についての説明文 目標 400 件→ 430 件)
- 質疑応答
村上委員
 - ・稼働率、収入の増がみられ、全体的に良い方向に向かっている。１ページの収支実績について、ケータリングの収入とともに支出も増えているのは、委託事業費が増えるからなのか、仕組みを教えてほしい。また、ケータリング事業者のうちF&Kサービスという会社の利用が多く、偏りがあるが、利用者が会社を自由に選択するのか。
 - ・人件費が 500 万円ほど増えているのは、どのような理由か。
 - ・ホールの稼働率が上がらないことが課題のようであるが、利用者からは、概ね高評価であることが見受けられる。稼働率が上がらない理由については把握できているのか。
 - ・アンケートによると、施設を知った経緯として、インターネットという回答の比率が高い。インターネット上の情報や、予約の仕組みを知りたい。

細井課長

- ・ケータリングの増加については、コロナの時期に外食需要が下がっていたところから回復して、徐々に上がってきているのが背景。コンベンションホールは取次ぎとしての位置づけである。利用者に複数の会社を紹介しており、各利用者が選択しているが、F&Kサービスのメニューがその需要に対応しており、選ばれやすいのではないかと考える。
- ・稼働率については、施設の利用者から高い評価を得ており、適正に施設運営ができていると評価しているが、稼働率が目標を達成しないのは、施設の対応の手厚さが影響している。現指定管理者はファーストレイアウト無料というサービスを提供しており、利用者はレイアウト変更分の時間の予約をせずに施設の利用ができている。それにより、予約を入れることができない日が発生し、施設の稼働率が目標達成に至っていない要因の一つになっている。
- ・予約は、施設に直接連絡する仕組みで、川崎市のHPからもリンクで施設のHPに繋がるようにしている。また、検索サイトのリスティング広告システムを使い、コンベンションホールが検索サイトの上位に上がるよう工夫し、顧客を誘導しているため、少しずつ向上はみられている。インターネット以外にも、近隣のコンベンション施設の催事を調査し、出展会社にコンベンションホールを紹介するなど、稼働率向上に向けた取組がみられている。
- ・人件費についてであるが、収支状況シートの提案額は、令和５年度からの第２期指定管理期間事業者選定の際に作成された内容なので、令和４年度時点の実績等を基にした予算額である。その後に人件費高騰などもあり、金額が増えているが、人員の増では

ない。増減率は15%増にとどまっているので、適正な範囲として受け止めている。

村上委員

- ・ケータリングについては、施設が手数料を取っているのか。

向坂係長

- ・収入の部に記載の付帯事業収入には、施設の収入となる仲介手数料10%が含まれている。

朝日委員

- ・成果の測定、業務改善の項目が評価「3」であり、標準ラインとしているようであるが、例えば利用者の増などは、事業者の工夫によるものであると同時に、単純な需要増であることも考えられる。成果の測定について、事業者の努力はどのように計れているのかが確認しづらく、評価を受けた後の活かし方も分かりづらいことが懸念される。課題の具体的な把握は、どのようにやっているのか。利用者満足度などは数値も出るので分かりやすいが、この項目はどのようにして評価「3」になったのか。

細井課長

- ・稼働率の向上のために、対象を選定した誘致活動やBtoC需要の新規開拓など、様々なアプローチをしていることは、毎月のモニタリング会議を通じて確認しており、プラスの評価をしている。武蔵小杉の再開発が進んでおり、単純な需要の増加もあるかもしれないが、指定管理者の様々な努力もあってのことだと受け止めている。

向坂係長

- ・大規模な会議やイベントについては、1年以上前に予約することが多いので、施設側からのアプローチに対してすぐに予約が入ったり、効果が出たりするわけではない。その年度の誘致活動に対して直接的な数値を得ることが難しいため、利用実績の数値を成果として確認する方法が適切であると考えている。

朝日委員

- ・努力内容を確認しての評価であると納得した。実績に反映しているかどうかを長期的に見極めるのは難しいと思うが、評価シートの指導事項の欄にある内容を実現するためには、成果測定、業務改善等を自発的にやっていくことを評価するとよいと思う。評価「4」だけでなく、「3」を適切に評価することが、よりよい実績に繋がるのではないか。

志村会長

- ・計画・実績対照表の40ページ(6)の福祉的就労雇用について、詳細を伺いたい。
- ・収支状況等確認シートについて、水道光熱費は予算に対してマイナス170万円、

13.7%減であるが、昨今の電力高騰の中、マイナスになった理由はあるか。

・稼働率についてであるが、12月、1月、3月の稼働が低いのは、一般的な休みの時期が含まれて、利用は少なくなる傾向か。この施設は自主事業もやっており、様々な検定試験の会場としても使われていると思う。他に伸ばせる余地があるような取組はあるか。

向坂係長

・福祉的就労雇用についてであるが、障害者雇用の実績はないが、定年退職後人材の雇用をしている。清掃業にもシニアの方がいる。

・水道光熱費、特に電気料金は、国から電力会社に補助がされ、利用者への値引き支援が行われているため、支出額が低くなっている。ただ、令和4年度の指定管理者選定時点での見積では、補助制度が終了することを見込んで予算を計上したと推察される。結果、補助制度が断続的に実施されているので、予算と決算に差が生じたものと考えている。

・閑散期である8月と3月に自主事業イベントを実施している。自主事業イベントに来た方に、コンベンションホールを知っていただくことで、御自身の仕事での利用を検討していただくような繋がり方を目指している。また、絵画の展示販売、ランドセルの展示販売など、様々な方に来ていただけるような催事を誘致し、幅広い利用者層の開拓をしていくことも、指定管理者事業者には求めている。

細井課長

・コンベンションホールはビジネス利用が本来目的であるが、条例では地域活性化、地域活力向上も目標にしている。様々なイベントを通して、小杉の街に来ていただくことを目指し、BtoBだけでなく、BtoC事業も並行して開拓していく必要があると考え、事業者と共に取り組んでいるところである。

志村会長

・評価について、原案どおりの評価で妥当であるということによいか。

【各委員、了承】

志村会長

・それでは、本委員会として評価案の評価を妥当と認めることとし、令和6年度川崎市コンベンションホールの管理運営に関する審議は終了とする。

議題（２）令和６年度の川崎市生活文化会館の管理運営に対する年度評価

10:12～11:06

- 所管課からの説明（一ノ瀬課長）
 - ・資料１の評価シートに基づき、各項目の評価案を説明。
- 質疑応答
村上委員
 - ・事業成果の評価を「４」としているが、利用者満足度は令和３年度と比較すると徐々に下がってきている。評価４とした理由を伺いたい。また、２ページの組織管理体制の安全・安心への取組の項目と、３ページの適正な業務管理の２項目については、昨年度の評価４から、今回は評価３に下がっているため、こちらの理由も伺いたい。

岩崎係長

- ・利用者満足度の低下については、指定管理者が試行的にアンケートを５段階から３段階にしたことが要因となっている。「良い」「普通」「悪い」のうちの「良い」だけを集計するため、数字としては下がってしまった。アンケートで要望のあった、施設の補修や老朽化対策の部分については迅速に対応できていることを評価し、「４」とした。
- ・また、事業成果については、今回、提案事業の講座を多く実施したことを評価している。新型コロナの影響でしばらく目標未達だったが、令和６年度は目標を上回ったことを評価して、「４」とした。

一ノ瀬課長

- ・組織管理体制の安全・安心への取組については、昨年度、「４」とした理由が、館内で付きまとい行為が発生し、その際の対応が迅速で、結果、再発もなかったことを評価したものである。今年度は特異な事例がなかったため、通常通りという評価で「３」としたもので、運営体制に減点すべき事象があったということではない。

岩崎係長

- ・適正な業務管理の項目においても、昨年度は給水ポンプの破損修理で緊急対応したことを加点していたが、今回は、加点要素がなかった。

朝日委員

- ・老朽化が進んでいるため、現状維持に注力せざるを得ないようで、評価もその観点で実施されており、この評価が継続していくと本質的な改善には繋がらないのではないかという印象である。現状、利用者ニーズは把握しており、きめ細かく対応しているので、業界団体の理解を深めるより、外部（市民）の意見を収集し、連携を広くし、その部分を評価していれば良いと感じる。施設面のニーズだけでなく、中身のサービスを提供することで市民と共創していくにあたって、広く情報収集が必要かと考える。
- ・利用者満足度の評価方法を３段階に変えたとのことであるが、継続して評価できないので、今後の対応については検討をお願いします。

一ノ瀬課長

・講座についての要望は、ニーズ調査などを行い、対応している。全庁的な話であるが、地域ごとの資産保有の最適化検討をしている中で、市民向けのワークショップを開催し、「こういう施設が欲しい」等の意見を拾い上げて取り込むことで、今後の整備に活かしていくための議論を行っている。

岩崎係長

・指定管理者のみで、利用者以外の外部のニーズを把握していくには限界がある。ワークショップを踏まえつつ、施設の今後について検討していく作業は市を中心として行っていく。

朝日委員

・理解した。施設面で課題があると、利用率の向上の限界が来てしまうので、実績に直結するような施設運営の評価ができると思う。

志村会長

- ・16 ページの表に1箇所空白があるので、修正してください。
- ・147 ページの稼働率減の理由についてお伺いしたい。
- ・市民ニーズを受けて講座を開催した実績があれば、記載すると良いと思う。
- ・技能職団体数は、設立当初から変わっていないのか。
- ・貸館業務について、溝の口の高津市民館との連携はあるのか。一方の予約が取れない時に紹介するなどの対応は行っているのか。

一ノ瀬課長

・技能職団体については、減少傾向である。後継者がいない、団体活動をしない等の理由で、団体数が減っている。放置しているとなくなってしまう、市民生活に影響が広がってしまうので、団体増に向けて対策を練っている。高校生の職場体験等を通して、手に職をつけることに興味を持ってもらう取組を行っているが、すぐに団体数が増えるわけではないので息の長い取組になる。

・会議室については、市民館との連携は行っていない。市民がふれあいネットにより、探している。すくらむ21（男女共同参画センター）とは予約の融通のためのやり取りがある。

岩崎係長

・稼働率の減については、特にホールの稼働率減が目立つが、利用の3日前までキャンセル料がかからないこともあり、仮押さえの後、直前にキャンセルされることが見受けられる。他の部屋は稼働率が増加した部屋も多いので、全体としては利用の増加に繋がっている。

・技能職団体の減少傾向への対応について、現在、49 団体であるが、後継者育成のた

めに中学校に技能職者を派遣しての体験授業の実施や、てくのかわさき技能フェスティバルなどの、市民に技能職者を知ってもらうためのイベントの開催に力を入れており、技能職者の増加に向け、こうした取組を今後も継続していきたい。

志村会長

- ・利用者満足度の 70%台は、高く見えないので、評価方法を変更したのであれば記載した方が良い。

村上委員

- ・利用者満足度については高い、というより向上しているかという観点で判断すると、現評価は適正であるのか。
- ・利用者満足度の欄に、「調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか」とあるが、加点をつけた取組を聴きたい。

岩崎係長

- ・工作実習室の床の補修があり、費用が高いが長年の要望に沿って実施できたことや、Wi-Fi の接続不良に対する修繕工事も迅速な対応であったため、評価した部分である。

志村会長

- ・評価説明については、詳細についての追加記載を求める。自主事業が利用増に繋がっているのであれば、その内容も記載した方が良い。
- ・評価について、原案どおりの評価で妥当であるということによいか。

【各委員、了承】

志村会長

- ・それでは、本委員会として評価案の評価を妥当と認めることとし、令和 6 年度川崎市生活文化会館の管理運営に関する審議は終了とする。

議題（3）川崎市生活文化会館の現指定期間の総括評価

11:07～11:30

- 所管課からの説明（一ノ瀬課長）
 - ・資料7の総括評価シートに基づき、各項目の総括評価案を説明。
- 質疑応答
村上委員
 - ・古い施設であるが、アンケートでは職員の対応に対しての満足度の高さも目立っており、十分に御尽力いただいていると思う。

朝日委員

- ・161ページの収支実績の項目ごとの金額について、令和5年度のみ他年度との差がみられるが、理由はあるか。
- ・施設の老朽化や、技能職団体の減少もみられる中で、良い実績が出されていると思う。今後の事業運営方針について「市内の技術・技能職者の拠点として…」とあるが、技能職業界のあり方も変わっているのではないか。「技能職」というより「市民」も含め、多様な対象に向けて取り組めるようになると良い。

志村会長

- ・指定管理者は、要望には少しずつだが着実に対応できていると思う、貸館運営としての努力は評価に値する。この施設は技能職団体が要望して設置されたということだが、要望元が弱体化しているので、今後どうしていくかが課題である。

岩崎係長

- ・令和5年度の歳入のその他収支であるが、労働会館からの備品の受入れや、修繕を多く行った関係で、施設還元策として本部からの繰入金がある。
- ・指定管理者として、市民利用の促進に向けた取組は積極的に行っているが、一方で技能職団体に加盟されていない方などへの支援は、課題として認識している。

一ノ瀬課長

- ・構造が変わってきていることは把握している。最近であると、人工知能の発達で、事務職などは需要が減ると言われているが、技能職の仕事はAIにはできないので、注目されて復活する、という見立てもあり、手に職をつけることに興味を持ってもらう動きがある。いわゆる引きこもりなど、社会に出られなくなってしまった方の進学先として、手に職をつけることを選択肢にしてもらうため、健康福祉局、こども未来局と連携を進めており、技能職者の増に向けて制度周知に努めている。

志村会長

- ・評価について、原案どおりの評価で妥当であるということによいか。

【各委員、了承】

志村会長

・それでは、本委員会として評価案の評価を妥当と認めることとし、川崎市生活文化会館の現指定期間の総括評価に関する審議は終了とする。以上で本日の議事は終了となるが、事務局から何かあるか。

事務局 米村課長

- ・会議録は作成後、委員の方々に御確認いただく。
- ・評価結果については、指定管理者へ通知するとともに市ホームページで公開する。

志村会長

- ・以上をもって、本日の委員会は閉会とする。